

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15106014	天然メタンハイドレートの最適生産・輸送・貯蔵方式に関する研究	鈴木 英之（東京大学・大学院工学系研究科・教授）	B
<p>複数の候補・方式の得失を検証して最良のものを抽出・提示するという「最適化」の素朴な語義に照らして、当該研究が目的に謳った「メタンハイドレートの生産・輸送・貯蔵プロセスに関する最適化」の作業が研究期間中に行われたとは言い難い。</p> <p>特に、メタンハイドレート構想の実現の可能性を左右する肝心の生産プロセスに関しては、単に、当該研究以前に行われた提案の一つを最適と結論付けたのみで、それ以上の検討は行われていない。スパ方式による生産用メガフロートの挙動解析も、厳密に言えば本題とは直接の関係がない。</p> <p>一方、ハイドレート層から得た天然ガスを再ハイドレート化して輸送・貯蔵する際のペレット充填層に関する実験・数値解析は成果として認められる。ただし、冷凍液化による天然ガスの輸送・貯蔵は既に広く行われており、その再ハイドレート化の必要性には疑問が残る。</p>			